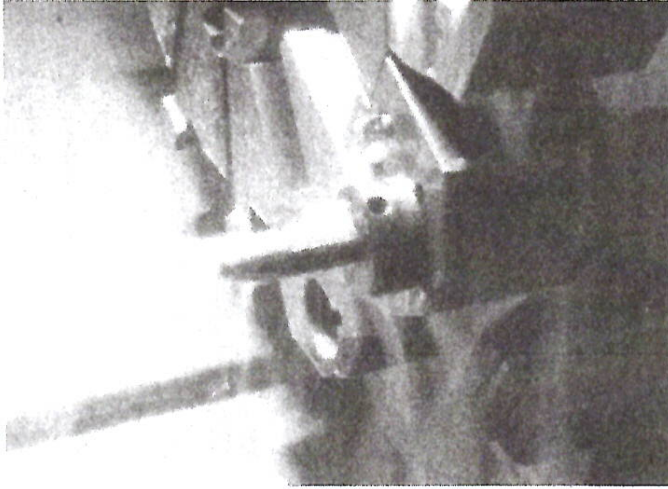


クーラント液 刃先に噴射

RE

旋削効率・工具寿命向上

GLOBE、旋盤用スリーブ



【水戸】GLOBE（グローブ、茨城県古河市、堀内幸之助社長）は、クーラント液を工具先端に噴射できる旋盤用スリーブ「クーラントチューブスリーブ」を発売した。スリーブのつば部分に、側面から刃先面に向けて管を設けた。クーラント液を加工部位に直接届けられるため、旋削効率と工具寿命の向上に寄与する。価格は1万3700円（消費税抜き）から。初年度に月200万円の売り上げを目指す。

旋盤用スリーブは、刃物台にボアリングバナーなどの工具を固定するスリーブのつば部分に設けた管からクーラントを刃先に向けて噴射できる。今回のため、保持具。今回のスリーブは、特に内径加工に適している。ワーク（加工対象物）に対して垂直方向に、工具に沿うようにクーラント液を噴射し、ワ

ークで遮られるのを回避する。GLOBEによる検証では、同スリーブの活用で工具寿命が2倍以上に延びることを確認したという。

つばの側面をカットし、クーラント液が工具の根本に当たるようにした「スタンダードスリーブ」も同時に製品化した。工具の摩擦や発熱を抑制するクーラント液の適切な噴射による旋削効率の向上を提案する。

従来、工具の内側からクーラント液を噴射する「内部給油方式」の旋盤もあつたが、周辺機器構成が複雑になるなどのデメリットがある。今回のスリーブを使えば、工具の外側から噴射する「外部給油方式」の機種でも、スリーブの交換だけで内部給油と同じ効果を引き出せる。

同社はドリルチャックなどの製造販売を手がける。旧社名は「堀内製作所」で、2020年に現社名に変更した。堀内健吾会長は「スリーブに穴を開けてクーラントを通すのは今までになかった発想。今後の主力製品のひとつにしていきたい」と話している。